

製品名: SPINT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86237**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:58 kDa; Observed MW:45-60 kDa

抗原情報

遺伝子名	SPINT1
別名	HAI; HAI1; MANSC2
遺伝子 ID	6692
SwissProt ID	O43278
免疫原	ヒト SPINT1 の組み換えタンパク質

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリンプロテアーゼ阻害剤であるクニッツファミリーに属する。このタンパク質は

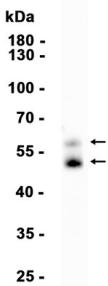
HGF 活性化因子に特異的な強力な阻害剤であり、損傷組織における HGF のタンパク質分解活性化の制御に関与していると考えられている。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数のバリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ

Mouse large intestine



SPINT1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス大腸組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。